

有限会社 草河乳業



[創業年] 1912年(明治45年)

[売場面積] 25.0㎡(7.5坪)

[事業従事者数] 8.7人

[営業時間] 10:30~18:30

[定休日] 日・月曜日

[商品構成]

- ・ 宅配商品 (ピッコヨ・グルト) 44.0%
- ・ 乳製品 (保育園) 5.0%
- ・ 自販機商品 (缶・ハット) 12.0%
- ・ 洋菓子・焼菓子 39.0%

[店舗所在地] 三重県亀山市東丸町 517-12

[URL・SNS] <https://amiekameyama.stores.jp>

https://www.instagram.com/amie_kameyama

[経営理念]

- ① 子供からお年寄りのまで牛乳のおいしさの価値提供と共に、健康と笑顔をお届けする
- ② 自社の利益だけでなく、地域貢献という価値提供することで地域に無くてはならない企業を目指す。
- ③ 従業員が働きやすい環境づくりを徹底します。

牛乳のおいしさを洋菓子で伝える

[お店の概要]

同店は三重県亀山市の中心部にあり、明治45(1912)年に創業し、現代表で4代目。

昭和46(1971)年に森永乳業の乳製品販売を開始した。個宅配件数の減少等、牛乳販売店を取り巻く経営環境が厳しさを増す中、令和4(2022)年にパティシエである現代表の息子が、草河乳業の洋菓子部門として「Amie(アミー)」を新たに立ち上げた。

牛乳販売店と洋菓子店という一見異なる業態であるが、同店が取り扱う三重県南部地域のブランドである大内山酪農農業協同組合(大紀町)の牛乳等、牛乳販売店として培ってきた既存の仕入ルートを活かし、看板商品の一つである「牛乳屋さんのシュークリーム」や「牛乳ジャム」等を製造販売。その他、ブルーベリー、イチジク、柑橘類等、季節のフルーツについても地元農家と直接契約を結び、地産地消を進めている。



牛乳屋さんのシュークリーム



いちじくのタルト



大内山牛乳を使った
ミルクジャム

【お店の経営ノウハウ】

「Amie」は、フランス語で「友だち」を意味する。同店の店主（息子）は、フランスで修業を積んで帰国し、家業である牛乳店に入店した。販売戦略として Instagram を積極的に活用し、菓子のおいしさを発信する。在庫状況を Instagram で発信し、極力フードロスが出ないようにする一方で、閉店時間間際でも商品を切らさぬよう、追加で商品を作るなど、売り切れが出ないように心掛けている。

高い製菓技術を持ちながら、販売するうえで気遣うのは、「牛乳のおいしさ」。長年、培ってきた牛乳の個宅配の販売網を活かし、高齢等でお店に足を運べないお宅にも、洋菓子を牛乳と一緒に届ける。また、これまでは牛乳店では買うことがなかった新規顧客を洋菓子店で開拓している。

牛乳を使った看板商品の「牛乳屋さんのシュークリーム」をはじめ、クッキーやパイ生地等は牛乳を使わない商品でも、「食中・食後に牛乳を飲みたくなる」味付けをしている。

細かな配慮の商品作りが功を奏し、新規顧客に結びついた。牛乳離れを防ぎ、牛乳のおいしさを知ってもらうことで、牛乳と洋菓子という双方にとって良い関係が生まれ、会社全体として売上増につながっている。



Amie 店内 洋菓子コーナー（左）と焼き菓子コーナー（右）



Instagram の活用